

横浜市港北区民文化センター
指定管理者選定評価委員会

第1期選定結果報告書

令和5年1月

1 経緯

横浜市港北区民文化センターの第1期指定管理者の選定にあたり、横浜市港北区民文化センター指定管理者選定評価委員会（以下「選定評価委員会」という。）は、応募者から提出された応募書類の審査及び公開による面接審査を行いました。

このたび、審査が終了し、指定候補者を選定いたしましたので、ここに選定結果を報告します。

2 対象施設

横浜市港北区民文化センター

3 指定期間（第1期）

令和6年3月中旬から令和11年3月31日まで（5年1か月間）

4 横浜市港北区民文化センター指定管理者選定評価委員会 委員

委員長	間瀬 勝一	（公益社団法人全国公立文化施設協会 事務局参与）
委員長職務代理者	川島 武俊	（港北区連合町内会 会長）
委員	岡 幹絵	（港北芸術祭実行委員会 委員）
	小堀 若菜	（税理士）
	村上 テル子	（港北芸能協会 副会長）

5 指定候補者 選定の経過

項目	日程
第1回選定評価委員会（傍聴者5名） ・公募要項、審査基準等の決定	令和4年6月14日（火）
公募の周知及び公募要項の公開	令和4年6月30日（木）
応募説明会の開催（出席団体21団体、35名）	令和4年7月12日（火）
公募に関する質問受付（9団体、149件）	令和4年7月13日（水）～7月25日（月）
公募に関する質問回答	令和4年8月26日（金）
応募書類の提出（3団体）	令和4年9月15日（木）～9月16日（金）
第2回選定評価委員会（傍聴者5名） ・面接審査、指定候補者の選定	令和4年12月20日（火）

6 選定にあたっての考え方

選定評価委員会では、「横浜市港北区民文化センター指定管理者公募要項」（以下、「公募要項」という。）においてあらかじめ定めた「評価基準項目」に従って、応募者から提出された応募書類を審査し、面接審査において、応募者からの提案説明を受け、委員による質疑を行い、指定候補者及び次点候補者を選定しました。

評価は、各委員が215点満点（さらに、加点要素10点）で採点しました。また、最低基準点は、加点要素を除いた出席委員の合計点（委員5人合計で1,075点）の6割以上（委員5人合計で645点以上）とし、最低基準に満たない場合は、応募者が1団体のみであっても指定候補者として選定せず、再度公募を行うこととしました。

評価基準項目	主な審査の視点	主な確認項目	配点
1 団体の状況			10
(1)団体の状況(財務状況含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体が、公の施設の管理運営者としてふさわしい団体であるか ・団体の財務状況(事業収益性、経営安定性、借入余裕度等)が健全であるか 	様式 10、11	10
2 指定管理業務実施にあたっての基本的な方針			20
(1) 指定管理業務実施にあたっての基本的な方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市の文化政策及び施設の使命を理解したうえで、基本的な方針を定めているか ・施設の使命を果たすために適切な方針となっているか。 	様式 12	10
(2)応募理由	<ul style="list-style-type: none"> ・応募理由が、市の施策や地域の特性、施設の設置目的を十分に理解した妥当性・具体性のあるもので、公益性の高いものか。 ・施設運営・管理・事業実施に熱意が感じられるか 	様式 13	10
3 職員配置・育成			20
職員の確保、配置及び育成	<ul style="list-style-type: none"> ・配置予定者の能力・資質の考えが適切であるか(業務の基準に定める「責任者に期待する役割」を果たし、文化事業の企画・実施や施設管理を的確に行える想定か) ・配置予定者は当該ポジションに適切な人物か。職種や責任体制等は適切に考えられているか。 ・スタッフの育成に関する考え方が適切か ・館を運営するチームとして、一体感あるチームをつくる運営に配慮しているか ・事件・事故、災害等に対して具体的な対応ができる体制が考えられているか ・個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の施設として、市の重要施策を踏まえた取組となっているか。 ・指定期間を見据えた配置及び育成計画となっているか。 	様式 14、15	20
4 事業計画(施設の使命を達成するための提案)			105
「使命1:文化芸術の活動と体験の場となる」を達成するための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使命を理解し、設定された定量指標・定性指標が的確であるか。 ・提案された事業によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	様式 16-1、2	20
「使命2:文化芸術活動を担う人材を育む」を達成するための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使命を理解し、設定された定量指標・定性指標が的確であるか。 ・提案された事業によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	様式 17-1、2	20
「使命3:文化芸術の鑑賞や体験の機会を提供する」を達成するための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使命を理解し、設定された定量指標・定性指標が的確であるか。 ・提案された事業によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	様式 18-1、2	20
「使命4:幅広い人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける」を達成するための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使命を理解し、設定された定量指標・定性指標が的確であるか。 ・提案された事業によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	様式 19-1、2	20

「使命5：持続可能性を高める施設運営を行う」を達成するための取組	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使命を理解し、設定された定量指標・定性指標が的確であるか。 提案された事業によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	様式 20-1、2	20
「使命6：新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する」を達成するための取組	<ul style="list-style-type: none"> 提案された取組によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	様式 21	5
5 収支計画及び指定管理料			30
(1) 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え	<ul style="list-style-type: none"> 利用料金等が適切・適正であり、利用者増を見込めるか 	様式 22-A、22-B	10
(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料のみに依存しない収入構造となっているか 経費削減等効率的運営の努力の考えが具体的か 	様式 23	10
(3) 指定期間の収支及び収支バランス（指定管理料の提案含む）	<ul style="list-style-type: none"> 利用者サービスのための経費や修繕費の配分など、施設の特性や課題に応じた費用配分となっているか 収支計画が適切であり、効率的な経費の執行による適切な指定管理料となっているか 指定期間の収支計画が適切であり、効率的な経費の執行による適切な指定管理料となっているか。 	様式 24	10
6 その他			30
(1) 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用	<ul style="list-style-type: none"> 業務の基準に定める「港北区民文化センターに求められる使命」に照らして、妥当であるか、実現が可能か。 市民理解が得られる公益性があり、かつ収入確保につながる提案内容か。 	様式 25	10
(2) 市の重要政策課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 市の重要政策課題（個人情報保護、情報公開、人権尊重、環境への配慮、障害者差別解消、男女共同参画、市内中小企業優先発注）への団体の対応状況は適切か。 	様式 26	10
(3) 提案書全体に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> 提案書は正確かつ明瞭に記載されているか。 		10
小計 (A)			215
その他 (加点要素)			10
市内中小企業等であるか【必須評価基準項目】	市内中小企業等 <ul style="list-style-type: none"> 市内中小企業 中小企業等協同組合法第3条に規定する事業協同組合、事業協同小組合及び信用協同組合のうち、市内に住所を有する者 地域住民を主体とした施設の管理運営等のために、地域住民を中心に設立された団体 ※共同事業体の場合は、代表団体が市内中小企業等であること。		10
小計 (B)			10
合計 (C = A + B)			225

7 応募者（50音順）

3団体から応募がありました。

(1) 神奈川共立・日本管財共同事業体

代表団体 株式会社神奈川共立

構成団体 日本管財株式会社

(2) 港北結マネジメント

代表団体 株式会社神奈川新聞社

構成団体 相鉄企業株式会社

(3) 横浜メディアアド・東急コミュニティー・JSS 共同事業体

代表団体 株式会社横浜メディアアド

構成団体 株式会社東急コミュニティー、株式会社ジェー・エス・エス

8 応募者の資格について

いずれの団体も欠格事項に該当していないことを確認しました。

<応募条件等>（公募要項抜粋）

(6) 応募条件等

ア 応募者の資格

法人その他の団体、又は複数の法人等が共同する共同事業体であること（法人格は不要。ただし個人は除く。）

イ 欠格事項

次に該当する団体等は、応募することができません。

(ア) 法人税、法人市民税、消費税及び地方消費税等の租税を滞納していること

(イ) 労働保険（雇用保険・労災保険）及び社会保険（健康保険・厚生年金保険）への加入の必要があるにも関わらず、その手続きを行っていないもの

(ウ) 会社更生法・民事再生法による更生・再生手続中であること

(エ) 指定管理者の責めに帰すべき事由により、2年以内に指定の取消を受けたものであること

(オ) 地方自治法施行令第167条の4の規定により、本市における入札参加を制限されていること

(カ) 選定評価委員が、応募しようとする団体の経営または運営に直接関与していること

(キ) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）又は暴力団経営支配法人等（横浜市暴力団排除条例（平成23年12月横浜市条例第51号第2条第5号に規定する暴力団経営支配法人等をいう。））であること

※本項目については、提出いただく「役員等氏名一覧表（様式3）」により、横浜市から神奈川県警本部に対し調査・照会を行います。

(ク) 2年以内に労働基準監督署から是正勧告を受けていること（仮に受けている場合には、必要な措置の実施について労働基準監督署に報告済みでないこと）

9 選定結果

(1) 審査結果

	評価基準項目	配点	指定候補者	次点候補者
1	団体の状況（財務状況含む）	50点	40点	38点
2	指定管理業務実施にあたっての基本的な方針	100点	80点	78点
3	職員配置・育成	100点	84点	68点
4	事業計画（施設の使命を達成するための提案）	525点	416点	413点
5	収支計画及び指定管理料	150点	118点	106点
6	その他	150点	116点	114点
小計		1,075点	854点	817点
7	その他（加点要素）	50点	50点	50点
合計		1,125点	904点	867点

選定評価委員会において、厳正な審査を行った結果、次の団体を指定候補者及び次点候補者と決定しました。

順位	団体名
指定候補者	港北結マネジメント
次点候補者	神奈川共立・日本管財共同事業体

(2) 審査講評

指定候補者：港北結マネジメント

メニューが豊富で、様々な視点の角度から提案がなされており、港北区の文化芸術の良い部分を残しながら、次世代のための新たな取組もある最も信頼のできる提案でした。代表団体は歴史のある企業であり、メディア、SNSなど広報に強みのある点も高く評価しました。構成団体は施設管理実績も豊富であり、地域に寄り添った人材の配置等により、安定した施設運営も期待できます。館長候補者には、経験を生かし、幅広い区民のニーズを聞きながら、区民文化センターの運営に反映することを期待しています。

次点候補者：神奈川共立・日本管財共同事業体

提案内容も充実しており、分かりやすく丁寧なプレゼンテーションでした。豊富な実績・経験を有しており、団体の提案に対する考え、姿勢の部

分は、高く評価でき、またSNSや若い人に向けた情報発信力や、文化芸術を担う人材の育成などについても、評価できる提案でした。

ただし、指定候補者と比較すると、安定した企画の中にもさらなる変化が不足していた点や、館長候補者が決まっていない点などにより、やや点が伸び悩むこととなりました。

10 総評

応募のあった3団体とも、実績豊富で提案も優れており、どの団体が選定されても水準以上の運営が期待できる内容でした。選定評価委員会で議論し、厳正に審査をした結果、指定候補者を港北結マネジメント（合計点904点）に、次点候補者を神奈川共立・日本管財共同事業体（867点）に決定しました。

指定候補者には、提案の内容を着実に実行していただくことで、港北区の文化芸術の発信拠点となりながら、地域との連携により区民文化センターの基本理念「ハートでつながるわたしたちのまち」を実現する場として港北区民文化センターを運営し、港北区のさらなる文化芸術振興に寄与する役割を担っていただくことを期待しています。